

「ジュピター」
ヴァイオリン協奏曲2曲！
豪華饗宴

モーツァルトの生誕地から真髓を奏でるオーケストラ

庄司紗矢香

Sayaka Shoji, violin

カメラータ・ザルツブルク

芸術監督：アフアナシー・チュピン
Camerata Salzburg Afanasy Chupin, Artistic Director

モーツァルト・プロジェクト Mozart Project

PROGRAM

モーツァルト：

Wolfgang Amadeus Mozart

ヴァイオリン協奏曲 第4番 ニ長調

Violin Concerto No.4 [ヴァイオリン独奏 庄司紗矢香]

交響曲 第41番 ハ長調 「ジュピター」

Symphony No.41 "Jupiter"

ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調 「トルコ風」

Violin Concerto No.5 "Turkish" [ヴァイオリン独奏 庄司紗矢香]

※本公演は指揮者を置かずに行います。

パガニーニ国際コンクール最年少優勝
メータ、マゼール、ヤンソンス、テミルカーノフと
共演を重ねる国際的ヴァイオリニスト

2026 **6/6** (土) 2:00PM 開演 (1:15PM 開場)

A 10,000円 B 8,000円 C 6,000円 D 4,000円 (全席指定 / 消費税込)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス **0798-68-0255** (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ / JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売
12/21 (日)

チケット
予約

●芸術文化センター **0798-68-0255** <https://www.gcenter-hyogo.jp>

●チケットぴあ <https://pia.jp/t/>

●ローソンチケット <https://l-tike.com>

芸術文化センター会員先行予約受付開始 **12/20** (土)

●イープラス <https://eplus.jp>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター [12/23(火)より、残席がある場合のみ]

※未就学児童はご入場いただけません。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。
※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

文化力
POWER OF
CULTURE



© Laura Stevens

世界的ヴァイオリニスト・庄司紗矢香と、モーツァルト演奏の真髄を極める名門オーケストラ、カメラータ・ザルツブルクが、意欲的なモーツァルト・プロジェクトで初共演を果たします。

庄司紗矢香は、14歳でヨーロッパ・デビューを飾り、16歳でパガニーニ国際コンクールに最年少優勝して以来、国際的な注目を集め続けてきました。これまでに、メータ、マゼール、ヤンソンス、テミルカーノフといった世界的指揮者と共演し、ベルリン・フィル、ウィーン交響楽団、ニューヨーク・フィル、ロンドン交響楽団など、世界有数のオーケストラとも数多く共演しています。また、舞踊家・勅使川原三郎をはじめとするさまざまな芸術家とのコラボレーションも高く評価され、活動の幅を広げています。

近年の庄司の取り組みの一つが、モーツァルトのヴァイオリン・ソナタ全曲の録音。豊かな感性と真摯な研究をもとに作品の本質に迫るその演奏は、鮮烈でしなやか、そして深い美しさにあふれています。

一方、カメラータ・ザルツブルクは、カラヤンの師としても知られるベルンハルト・パウムガルトナーによって創設された、モーツァルトの故郷・ザルツブルクを拠点とする名門室内オーケストラ。ザルツブルク音楽祭をはじめ、国内外の舞台上で高く評価されており、とりわけモーツァルトの演奏では唯一無二の存在感を誇ります。現在では指揮者を置かず、メンバー同士の高度なアンサンブルで、繊細さから壮大さまで幅広い表現を生み出す楽団としても知られています。

今回の特別なプログラムでは、ザルツブルク時代に作曲されたモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第4番・第5番を庄司がソリストとして演奏。また、カメラータ・ザルツブルクによる最後の交響曲《ジュピター》も披露されます。

純度の高いヴァイオリンの響きが大空間を舞い、伝統のサウンドがホールを満たす——まさに至福のモーツァルト体験。このかけがえのない瞬間を、どうぞお聴き逃しなく。

モーツァルトを極めた一者が織りなす、至高の響き

庄司紗矢香 [ヴァイオリン] Sayaka Shoji, Violin

唯一無二の芸術的多様性とレパートリーへの緻密なアプローチで、国際的に認められるヴァイオリニスト。その音楽的言語に対する非凡な洞察力は、これまで拠点を持ってきたヨーロッパと日本、二つの背景の混合に由来する。東京に生まれ、3歳でイタリアのシエナに移住。キジアーナ音楽院とケルン音楽大学で学び、14歳でルツェルン音楽祭にて、ルドルフ・パウムガルトナー指揮ルツェルン祝祭管弦楽団との共演でヨーロッパ・デビュー、及びウィーン楽友協会に出演した。1999年、パガニーニ国際コンクールにて史上最年少優勝。以来、メータ、マゼール、ビシュコフ、ヤンソンス、テミルカーノフなど多数の一流指揮者と共演を重ねた。これまでに共演したオーケストラはフィルハーモニア管、クリーヴランド管、ロンドン響、ベルリン・フィル、ロサンゼルス・フィル、ニューヨーク・フィル、チェコ・フィル、マリンスキー管など多数。2024/25年シーズンのハイライトには、エサ＝ベッカ・サロネン指揮サンフランシスコ響、カーチン・ウォン指揮クリーヴランド管、ヤープ・ファン・ズヴェーデン指揮エバーグリーン響、トンキョウストラ管、シュトゥットガルト室内管とのコンサートが挙げられる。2024年秋にはアラン・アルティノグル指揮フランクフルト放送響の日本ツアーに参加。その名演が評価され、第37回ミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞した。また多様な芸術分野とのコラボレーションでも世界的に高く評価されており、舞踊家・振付家の勅使川原三郎、安藤忠雄、杉本博司らとも精力的にコラボレーションを行っている。2012年、日経ビジネス「次世代を創る100人」に選出。2016年、芸術分野で顕著な影響を及ぼした者に与えられる「毎日芸術賞」を受賞。使用楽器は上野製薬株式会社より貸与されているストラディヴァリウス「レカミエ」1729年製。

カメラータ・ザルツブルク Camerata Salzburg

オーストリア・ザルツブルクを拠点とするカメラータ・ザルツブルクは、1952年に指揮者で音楽学者のベルンハルト・パウムガルトナーによって設立された。20か国以上の出身の音楽家たちが集うこのオーケストラは、特にウィーン古典派の音楽、なかでも地元ザルツブルクが生んだ偉大な作曲家モーツァルトの作品を中心とした音色で知られている。また、ロマン派の作品にも取り組み、バロックから現代に至るまで幅広いレパートリーを網羅し、確固たる地位を築いている。ザルツブルク音楽祭やモーツァルト週間をはじめ、グシュタード・メニューイン音楽祭、ラインガウ音楽祭など国際的な舞台にも定期的に出演。教育活動にも力を入れ、「CAMERATA Young」を通じて、若手音楽家、学校や地域と連携したプロジェクトなど、クラシック音楽の普及に貢献している。著名アーティストとの共演、録音なども積極的に続けている。